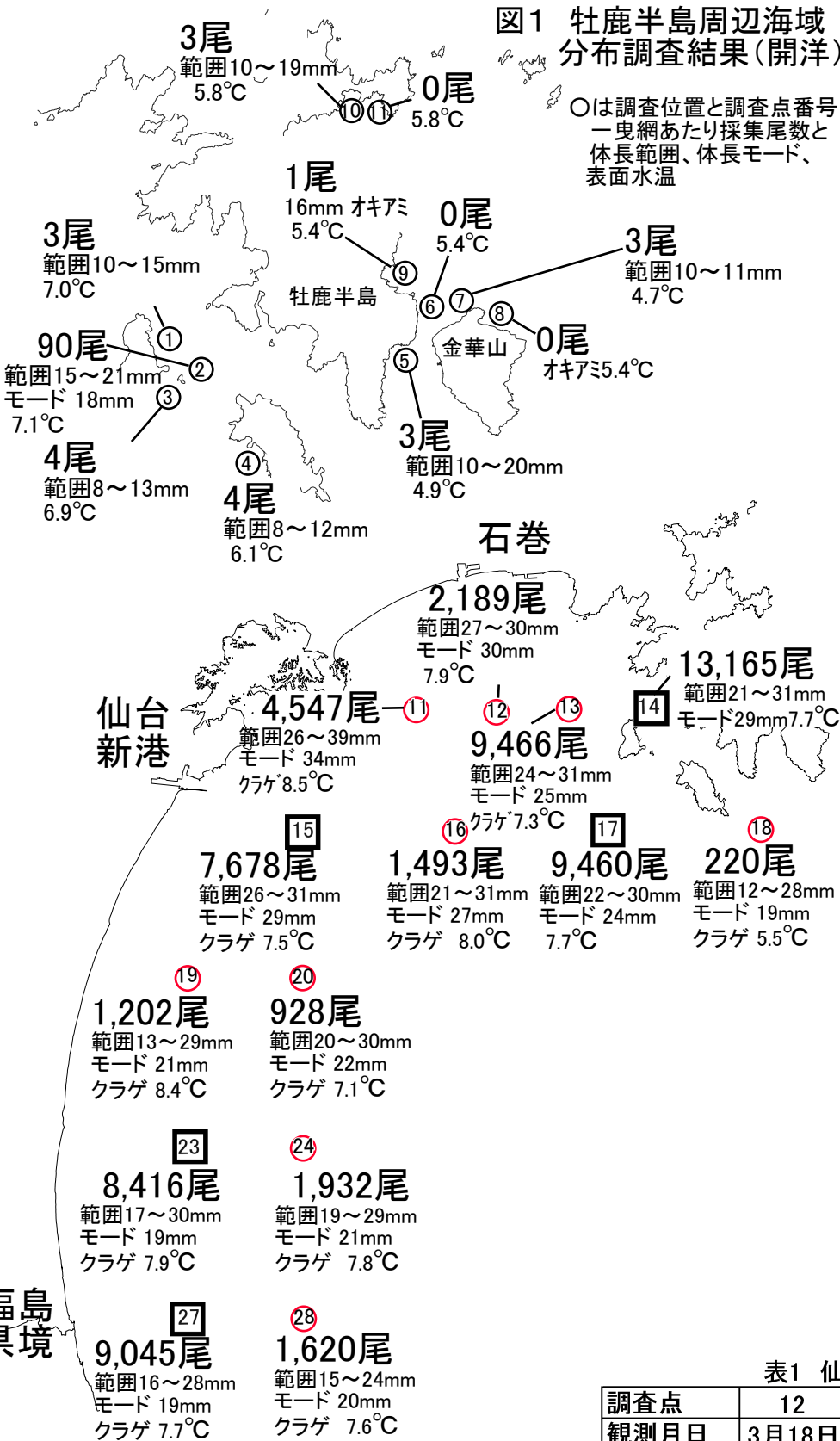


コウナゴ漁期前調査結果

平成27年3月16日～18日のコウナゴ分布



平成27年3月16日から18日にかけて、県漁業調査指導船「みやしお」及び「開洋」により、コウナゴの漁場形成状況を把握するために調査を行いました。

調査方法は仙台湾内14調査点において、網口開口板を使用した中層曳網(水深10m層10分曳)、牡鹿半島周辺海域11調査点において小型中層曳網(表中層10分曳)を用いて行いました。

牡鹿半島周辺海域では田代島周辺でコウナゴの入網が見られ、全調査点での平均採集数は10尾となり、過去10年(H16-H26)の平均値55尾を下回る結果となりました。体長の範囲は8~21mmでモード(最頻値)は18mmとなり、表面水温は4.7~7.1°Cで透明度は3~9mでした(図1)。

仙台湾海域では、石巻湾及び県南部沿岸の調査点で多くのコウナゴが採集され、平均採集数は5,097尾と、過去10年(H16-H26)の平均採集数3,451尾を上回る結果となりました。体長の範囲は12mm~39mmの範囲で、モード(最頻値)は29mmとなり、表面水温は5.5°C~8.5°Cで透明度は、5mから9mでした(図2, 表1)。

また、仙台湾海域で採集されたコウナゴの放射性セシウムはすべて不検出でした。

親潮系冷水の勢力が強いため、県沿岸海域は、平年に比べ水温が低く推移しています。今後、当センター発行の漁海況情報等を参考として下さい。

図2 仙台湾分布調査結果(みやしお)

○は調査位置(太字は放射能測定地点)と調査点番号
一曳網(10分曳き)あたりの採集尾数
全長範囲、全長モード、主な混獲物、表面水温

表1 仙台湾海域海洋観測結果

調査点	12	15	19	24	27
観測月日	3月18日	3月17日	3月17日	3月17日	3月17日
透明度(m)	5	5	6	8	9
水温 °C					
0m	7.9	7.5	8.4	7.8	7.7
10m	7.0	6.6	7.3	7.0	7.1
20m	6.8	6.6	7.0	6.9	7.1(19m)